

令和 7 年度  
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会  
第 6 回理事会

日時 令和 8 年 3 月 27 日 (金)  
14 時 00 分～午後 17 時 00 分  
場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所及び WEB 開催

令和7年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第6回理事会

日 時 : 令和8年3月27日（金） 14時00分～17時00分

場 所 : （一社）静岡県臨床衛生検査技師会事務所及びWEB開催

出席者 : 現在役員数20名（理事18名・監事2名）

羽切政仁 高橋詩帆 原宣紀 市川佐知子 岩崎佐知子 石井浩崇

風間文美代 鈴木千恵子 前澤圭亮 村越大輝 亀山拓哉

山口聡子 直田健太郎 坂根潤一 齋藤晴義

松浦裕 山下計太（監事）

須田達也（書記）

（18名／全20名中 うち理事 16名／18名 監事2名／2名）※敬称略

欠席 : 久留島幸路 畑本大介

議長及び議事録署名選出

議長 羽切政仁

議事録記名人 高橋詩帆 原宣紀 市川佐知子 松浦裕 山下計太

【報告事項及び議題】 ＊敬称略

1. 前回議事録確認（坂根）

令和年 7 度第 5 回理事会議事録が承認された。

2. 日臨技・中臨技関連（直田）

- 1) 臨地実習について：受け入れ登録施設を増やすように進めています。特に 200 床から 300 床の施設登録が少ないのでアナウンスをしていく。
- 2) 急性期病棟における看護・多職種協働加算検査について：説明がありました。

3. 支部関連

1) 東部支部（岩崎）

① 抄録における非会員の取り扱いについて

抄録を確認したところ、日臨技会員以外の共同発表者が含まれている演題が複数認められた。日本医学検査学会規程細則には以下の記載がある。

第 16 条

- 1) 共同発表者の掲載料は無料とし、非会員の場合は 1 名 5,000 円とする。
- 2) 複数演題に登録があっても非会員の掲載料は同額とする。
- 3) 関係団体の共同発表者は前項に準じるものとする。

医学検査学会に準じて対応していくとする。次回からは募集要項に記載する。

② 座長の選出および査読体制について

下記の理事に座長を依頼し、査読もお願いすることが承認された。

第 I 群（血液部門のみ）：市川理事、後日 1 名を選出

第 II 群（生化学、総合、輸血、細菌）：山下監事、亀山理事、石井理事

第 III 群（生理、病理部門）：久留島理事、後日 1 名を選出

③ アッヴィ株式会社による特別企画講演について

後日の打ち合わせにて座長と演者などの詳細を詰めることになる。

肝炎医療コーディネーターなどの厚労省から出ているお知らせを発信することを進める。

④ 開催案内（静臨技ニュース、HP 掲載等）について

申込期間を調整してから案内することとする。

⑤ 会場視察および事前打ち合わせについて

本日午前に会場視察を行ったことを報告。

⑥ 第 13 回静岡県医学検査学会当日スケジュール案

スケジュールについては、2 部構成や特別企画と学会開始の時間などを検討して、案を再提出することになる。

## 2) 中部支部（村越）

### ① 静岡県臨床検査精度管理委員会

- a. 来年度の参加募集が完了したことを報告
- b. 細菌検査の備品廃棄について：引き継ぎがされてなく、破棄されてしまったことがあった。今後は各部門へ物品管理をしっかりとするように注意をすることに。
- c. 病理部門のスライドの薄切標本作成の無償対応の可否について：利益相反に該当しないため、今回は大日本精機に依頼することとする。次回以降は再検討することとする。
- d. 病理部門よりバーチャルスライドの保管できる HDD の購入について：承認された。
- e. 精度管理試料の輸送について：梱包作業を行っていた中北焼津支店が使用不可となったことから、搬送を依頼している郵便局も静岡支店に変更を検討したが対応困難となる。他臨技でも精度管理調査の搬送実績のある日本通運から精度管理調査の試料搬送に関して協力できないかと連絡あり、日本通運と打ち合わせを実施し、現在の運用で日本通運と中北どちらも対応可能であることを確認。  
容器代などのコストが掛かってしまうが、今回はこの対応で承認された。  
次回は搬送料のコスト増加を踏まえ、参加費の値上げを検討していくこととする。

## 3) 西部支部（市川）

### ① 減塩・低カロリープロジェクト

11月29日（日）に開催予定

大規模地震時医療活動訓練（11/27・28）の参加者を除いた西部地区から人選する

### ② メディメッセージ

9月12日（土）・13日（日）に、浜松で開催予定

## 4. 各部報告・審議

### 1) 学術部（原）

#### ① 報告事項

##### a. 研修会申請・生涯研修登録

###### ・開催申請

令和7年度 学術部8部門23研修会 + 総合部門タスク講習会3回 計画通り終了

###### ・終了申請

20251129 第1回染色体遺伝子部門研修会（Web）参加者：9名

※参加者が日臨技助成金規程（10名以上）に及ばず助成金却下。

➡10名未満の情報を事前に伝えるように促すことに。

20260117 第3回輸血細胞治療部門研修会（現地）参加者：38名

20260131 第5回臨床生理部門研修会（Web）参加者：46名

20260208 第25回静岡血液フォーラム（現地）参加者：161名

### ③ 審議・協議事項

#### ・任期満了に伴う次年度部門員選出について

次年度学術部研究班、精度管理委員、精度管理 WG 部員について、事前メールして確認を依頼してあったが理事からは特に意見はなかった。

臨床検査データ標準化委員について、今年度末をもって廃止する方向で進めて良いか。 ➡承認された。総会にて廃止の報告をすることに。また、基幹施設については精度管理委員会にて検討することとした。

#### ・Web を活用した研修会開催への要望について

Webex から zoom への移行、もしくは Webex と zoom を併用しての運営ができないか。既に次年度研修会企画や事前ミーティング開催が予定されているが、権限を持っていないため Web 開催手段について保留としている部門がある。

➡zoom への変更が承認され、早速手続きを開始することに。

#### ・学術会計に関する対応について（風間）

部門会計処理を行っていくにあたり以下を伝達していく予定

##### 1) 部門口座はネット送金が出来ないため静岡銀行がないと不便

→静岡技で使用する指定口座銀行は静岡銀行である。学術会計と各部門会計とのやり取りは、静岡銀行を使用して下さい。 ➡承認された。

##### 2) 部門員個人口座への振込み手数料負担を減らす手段

→部門会計からの部門員や実務員への支払い方法は各部門に一任する。現地開催では今までと同様に現地支払い、現地での支払いが不可能な場合は、PayPay などの電子決済や振込手数料の負担を考慮し、繰り越しとして次回の機会にまとめてお支払いするなどそれぞれ工夫をしていただきたい。 ➡手段を紹介することについて承認された。

#### ・メネルジアからの参加費振込みを学術部門会計に一本化させたい

→研修会参加費振込みはメネルジアから各部門に行われている。カード決済のため最大 2 ヶ月後となり参加募集期間によっては、2 回に分けて支払いがされ会計処理が煩雑になってしまう。また次の研修会までに支払いが間に合わず補填をしたり、各会計の方が一時的に立て替えるなど負担が大きい。

ほかにも、登録口座が少ない方がメネルジアとのやり取りが迅速かつ簡潔となる。

➡一本化が承認された。

#### ・LINE 公式アカウントについて

静岡技として LINE 公式アカウントを導入して活用していくかまたその管理や掲載内容をどうするか。 ➡現時点ではコスト面なども考えて LINE 公式アカウント導入はしないことに。今後の様子を見て再検討とする。

#### ・キャリアメールの使用について

➡会報にメールアドレスの使用や設定方法等について案内をして周知することに。

#### ④ 確認事項

今後のタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について

日臨技 HP に令和 8 年 4 月 1 日より一部の都道府県を除き、支部開催での実技研修へ変わっているが、今後の対応について確認させて顶きたい。 ➡未定です。

### 2) 組織部及び連盟（市川）

#### ①報告事項

##### a. 各種表彰について

- ・令和 8 年秋の外国人叙勲候補者の推薦  
→該当者なし
- ・第 78 回「保健文化賞」候補者の推薦  
→該当者なし
- ・令和 8 年度静岡県知事表彰候補（個人・団体）の推薦  
→4 月 8 日 HP へ切、次回理事会にて報告
- ・第 34 回研究助成金募集（黒住医学研究振興財団）  
→5 月 27 日 HP へ切、次回理事会にて報告

##### b. 会員の異動について

- ・令和 8 年 1 月 2 月分の異動  
→メールにて理事による確認済み  
皆様からの意見・問い合わせ等、なし

##### c. 令和 6 年度会員名簿の回収について

- ・令和 8 年 3 月 9 日 回収依頼の文書を発送済み

##### d. 令和 8 年度賛助会員の継続確認について

- ・4 月に入ったら、継続確認を予定

##### e. 求人情報掲載について

- ・第 5 回理事会後から 3 月 26 日まで、掲載依頼 6 件、削除依頼 0 件

##### f. 連盟（石井）

- ・日本臨床衛生検査技師連盟 主催勉強会（毎月第 3 週日月曜日）

##### g. スタートアップ研修会 終了報告（羽切）

#### ② 審議・決定事項

##### a. 静岡県との災害協定について

1 月初旬 静岡県から今後について、今年度の締結は時間的余裕がないため来年度でも良いか？との連絡あり

→卸連合、技師会ともに、やむを得ないと回答

→その後の進捗は当日説明、今後の方向性について審議

- b. 令和8年度「大規模地震時医療活動訓練」への参加協力に関する県行政への働きかけについて、日臨技の板橋さんより問合せあり

→回答期日までに余裕がなく、羽切会長・直田理事に相談し、以下のように回答

『静臨技では、静岡県と卸連合の3者協定の締結に向けて準備中です。

災害訓練に関しては、県との災害協定について現時点で協定締結には至っていないため、日臨技との伝達訓練にのみ参加する予定で考えております。』

→その後、板橋さんより連絡があり、協定締結に関係なく参加を考えてほしいことや今まで参加した県は、締結していない県だったこと、訓練には、日臨技作成のマニュアルも参考にできることの連絡があり。

また、今年度の大規模地震時医療活動訓練では、対象地域に静岡県が入っていることもあり、是非訓練参加をお願いしたい。

静臨技の方針を審議し、11月の訓練に向けて、県への意向をお伝えします。

- c. 災害時支援の協力人材の整備状況について

日臨技からの調査依頼についての回答を審議

- ・協定締結の進捗
- ・卸連合との調整
- ・マニュアル整備の進捗
- ・協力人材育成の状況と取り組み

➡今後の進捗次第で、県との2者協定締結に変更して進めることが承認された。

➡大規模地震時医療活動訓練は見学参加の方向で進めていくことに。

➡災害時支援の協力人材を募るために日臨技「大規模災害時の支援人材育成講習会 その1/その2」の修了者を増やすように会報掲載などで働きかけをしていく。

- ・スタートアップ研修会 終了報告

### 3) 渉外広報部（高橋）

#### ①報告事項

- a. 静臨技ニュース

- ・静臨技ニュース2月・3月号 一斉送信および掲載済。
- ・静臨技ニュース内容

12月号

日臨技デジタルブックについて P1

第13回静岡県医学検査学会 開催のお知らせ P2

会員投稿 P3

静臨技学術部より重要なお知らせ P4

臨床検査関連研修会 P5-6

行事予定 P7

1月号

静臨技ホームページリニューアルについて P1

令和8年度(第43回)静岡県臨床検査精度管理調査 P2

会員投稿 P3

静臨技学術部より重要なお知らせ P4

臨床検査関連研修会 P5-9

行事予定P10 静臨技ニュース2月号・・・添削中

・静臨技ニュース4月号・・・作成中

b. 1 広報部写真撮影

・スタートアップ研修会

c. ホームページリニューアルについて

・役員名簿について 別紙参照

➡支部役員については6月までに継続などの確認をしておく。

➡静岡県臨床検査データ標準化委員会は非掲載とする。

3) 会計部

① 報告事項(齋藤)

日臨技から下記のごとく送金されたことが報告された

a. 令和7年12月締め分会費・入会金 16,000円

b. 令和7年度「日臨技生涯教育推進研修会」送金 38,500円

c. 令和8年1月度締め分会費・入会金 11,000円

d. 令和7年度「日臨技生涯教育推進研修会」送金 240,500円

4) 事務局(坂根)

① 報告事項

a. Zoom導入に関する提案

➡静臨技として2アカウント導入し、学術部からの申請に対応できるようにする。

➡Webexは契約を継続せず、契約期間終了までの使用とする。

書記 須田 達也

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 羽切政仁

氏名 \_\_\_\_\_ 印

議事録記名人

高橋詩帆 原宣紀 市川佐知子 松浦裕 山下計太

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印